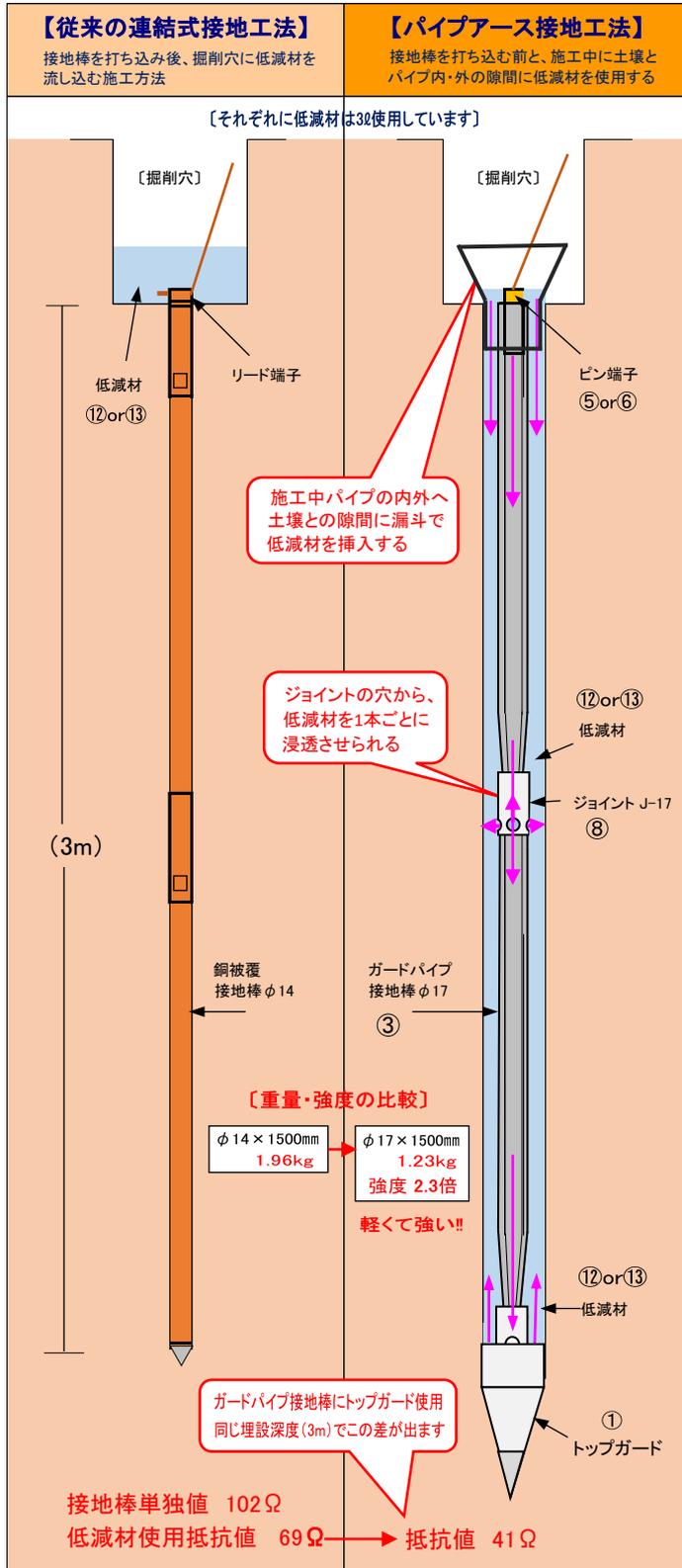


# パイプアースシステム

従来のアース棒よりも**3割以上も軽く、2.3倍強い**折れることが無い**安価なパイプ式アース棒**と、先端に取り付ける**トップガード部材**、それに**粉塵吸引の危険が無いジェル状低減材**を使用する事で、**安全に作業ができるだけではなく**パイプ内・外から低減材が**地中深く浸透**するので、**低減効果増大で大幅なコスト削減**に繋がります。

## 〔棒電極接地工法の比較〕



## 〔パイプアース接地工法が選ばれる理由〕

### 1. 軽くて強い!!

ガードパイプ接地棒は、**軽いのに曲がりにくくて折れない**ので、固い地盤に威力を発揮します。

### 2. 安価で安心!!

ガードパイプ接地棒は、**ノンクロムの高耐食亜鉛メッキ**なので**安価で安心な環境に優しい製品**です。

### 3. 簡単で安全!!

ジェル状低減材「イージェル」は、**水との配合が必要が無い**うえに、**開栓してすぐに使用する事ができて、粉塵の吸引の危険が無い**ため、**作業性・安全性に優れています**。

### 4. 効果が抜群!!

パイプ内・外に注入された低減材イージェルを、**トップガード部材と穴あきジョイントで、満遍なく放出・流入**でき、**優れた低減効果が得られます**。

● ガードパイプ接地棒は、日本製鉄の高耐食溶融メッキ製で、ノンクロムのZAM鋼板をパイプ加工して使用しています。

## 〔パイプアース接地工法・作業手順〕

- 掘削穴に、ガードパイプ接地棒打ち込み用の下穴をパール等で開ける。(地下埋設物確認と打ち込み準備のため)
- ガードパイプの先端に、トップガードを装着して下穴に挿入する。
- 低減材「イージェル」を開栓して、ガードパイプ接地棒の打ち込む箇所へ投入。そしてトップガードを取付ける事で生じる、接地棒と土壌の隙間に打ち込み前に、漏斗をセットして流し込む。  
※ ガードパイプ接地棒1本に対して約10kg使用。
- ガードパイプ接地棒の上部に、打設ピンを取り付けて打ち込みを開始する。  
※ 施工中に、ガードパイプ接地棒と土壌の隙間に漏斗で低減材を注ぎ込むと、打撃振動で効率よく浸透させる事がより可能です。
- 1本目を打ち終わった後、低減材をパイプの内部と土壌の隙間に補充して測定する。規定値に未到達なら、2本目の接地棒を継ぎ足して打ち込む。更に継ぎ足す場合も、前項同様に低減材を使用しながら順次、ガードパイプ接地棒を継ぎ足して打ち込む。
- 打ち込みが終わったら、低減材をガードパイプ接地棒の内部及び**土壌の隙間と接地極全般に補充**して端子を打ち込み、対象物の接地線と接続して完了です。

● 上記の抵抗値は同一場所、同一深度での施工データに基づくもので、施工場所によって抵抗値はこの限りではありません。

※ 低減材を、ノズルや漏斗使用で土壌と接地棒の隙間に挿入するかが大切です。  
※ パイプジョイントを使用すると、低減材の効果をより良く発揮できます。